

# 2020年2月期 第2四半期決算説明会

## 株式会社アルバイトタイムス

2019年10月16日



# 連結業績の概要

2019年3月1日～2019年8月31日

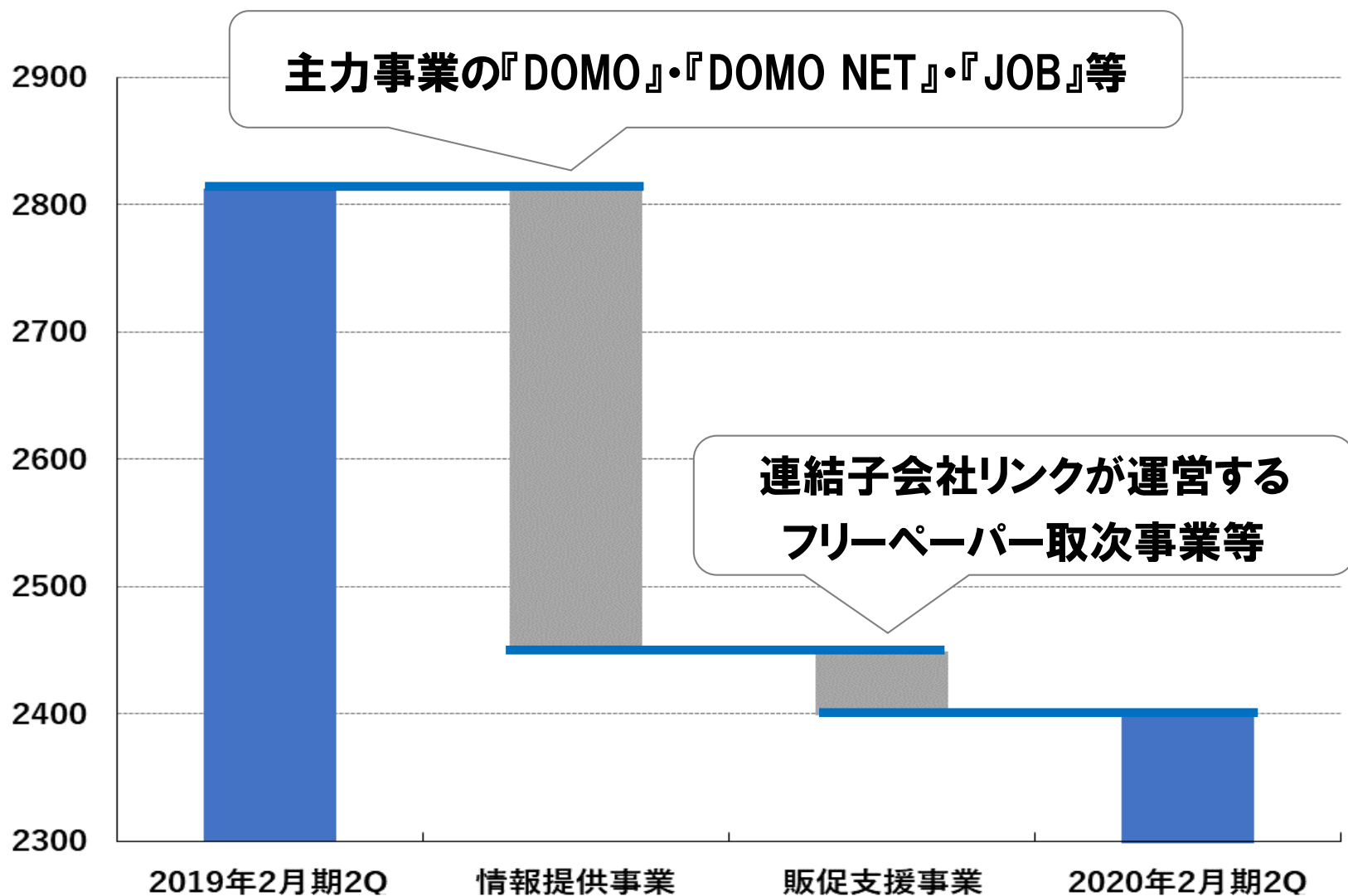


# 2020年2月期 2Q累計業績(PL)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		2020年2月期Q2累		2019年2月期Q2累		前年同期比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高		2,377	100.0	2,786	100.0	△408	△14.7
売上原価		765	32.2	871	31.3	△106	△12.2
	印刷費	255	10.8	322	11.6	△66	△20.6
	労務費	99	4.2	105	3.8	△5	△5.7
	その他売上原価	410	17.3	444	16.0	△34	△7.7
売上総利益		1,612	67.8	1,914	68.7	△301	△15.8
販管費		1,494	62.9	1,626	58.4	△131	△8.1
	人件費	774	32.6	829	29.8	△54	△6.6
	広告・販促費	299	12.6	302	10.9	△2	△0.9
	流通費	118	5.0	195	7.0	△76	△39.3
	その他販管費	301	12.7	298	10.7	2	0.9
営業利益		117	5.0	287	10.3	△169	△59.1
経常利益		121	5.1	294	10.6	△173	△58.8
税金等調整前		121	5.1	291	10.5	△170	△58.4
四半期純利益		84	3.6	202	7.3	△118	△58.3
EPS		¥3.20		¥7.67			



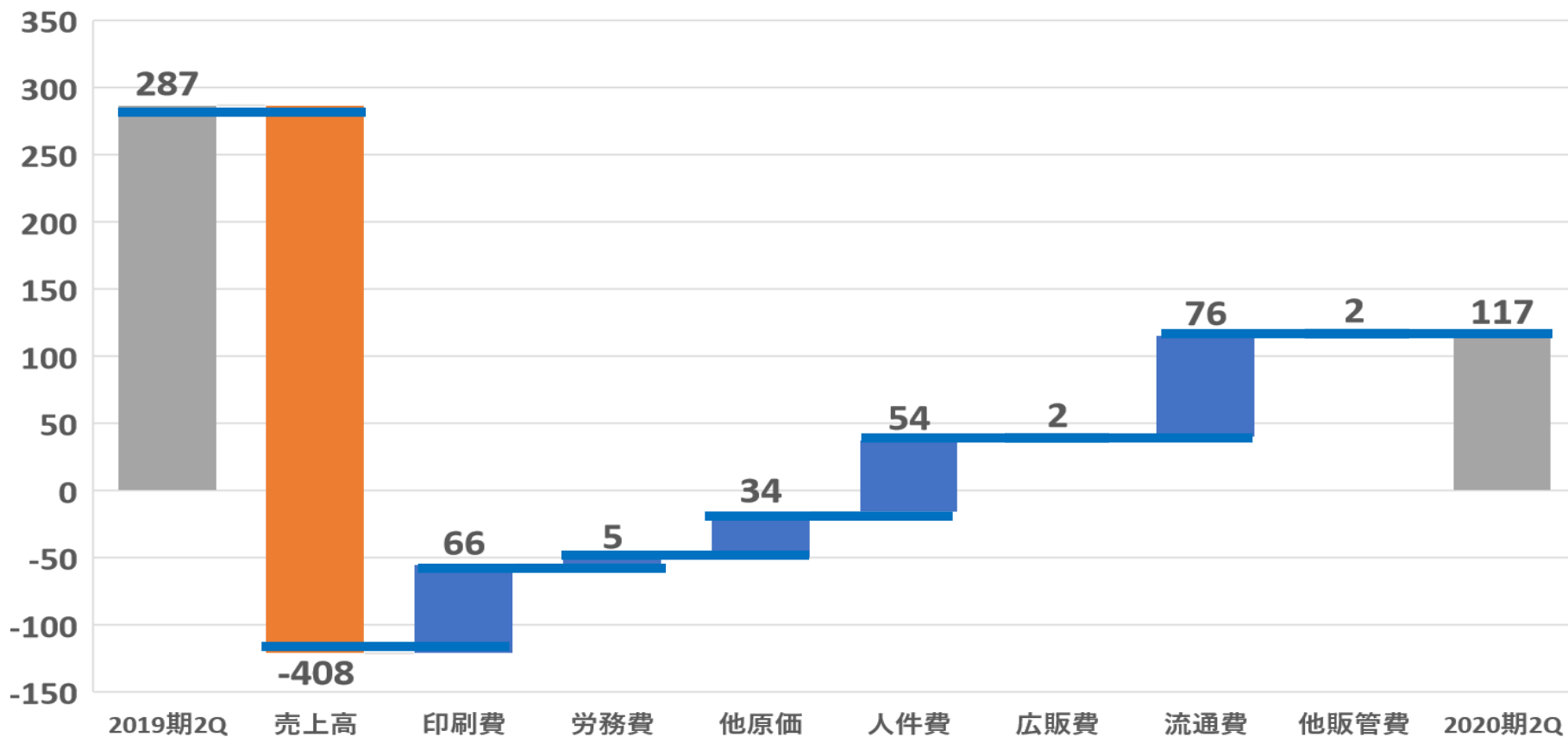
# 2020年2月期 2Q累計業績(セグメント別売上高)



# 2020年2月期 2Q累計業績(営業利益の増減要因)

## 営業利益増減要因

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



# 2020年2月期 2Q累計業績(BS)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		2019年8月末		2019年2月末		前期末比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
	流動資産	4,738	84.9	5,019	85.2	△281	△5.6
	固定資産	842	15.1	870	14.8	△27	△3.2
	資産合計	5,580	100.0	5,889	100.0	△309	△5.2
	流動負債	666	11.9	869	14.8	△202	△23.3
	固定負債	—	—	—	—	—	—
	負債合計	666	11.9	869	14.8	△202	△23.3
	資本金	455	8.2	455	7.7	—	—
	資本剰余金	540	9.7	540	9.2	—	—
	利益剰余金	4,994	89.5	5,095	86.5	△100	△2.0
	自己株式	△1,076	△19.3	△1,076	△18.3	—	—
	株主資本	4,915	88.1	5,015	85.2	△100	△2.0
	その他包括利益累計額	△1	△0.0	4	0.1	△6	—
	非支配株主持分	0	0.0	0	0.0	△0	△20.1
	純資産	4,913	88.1	5,020	85.2	△106	△2.1
	負債・純資産合計	5,580	100.0	5,889	100.0	△309	△5.2
	BPS	¥186.16		¥190.19			

# 2020年2月期 2Q累計業績(CF)

金額・増減額:百万円	2020年2月期Q2累	2019年2月期Q2累	前年同期比
	金額	金額	増減額
営業活動CF	△15	328	△343
投資活動CF	△35	△15	△19
財務活動CF	△183	△183	0
換算差額	△0	△1	1
増減額	△235	126	△361
期首残高	4,371	4,009	
期末残高	4,135	4,136	

## ➤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、税金等調整前四半期純利益が121百万円、減価償却費が22百万円、売上債権の減少額が71百万円等となった一方で、未払債務の減少額が63百万円、賞与引当金の減少額が6百万円、法人税等の支払額が117百万円等となったためです。

## ➤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、有形固定資産の取得による支出が3百万円、無形固定資産の取得による支出が2百万円、関係会社の取得による支出が2百万円、関連会社への貸付による支出が20百万円等となったためです。

## ➤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 配当金の支払額が183百万円となったためです。



# 当第2四半期の総括

2019年3月1日～2019年8月31日



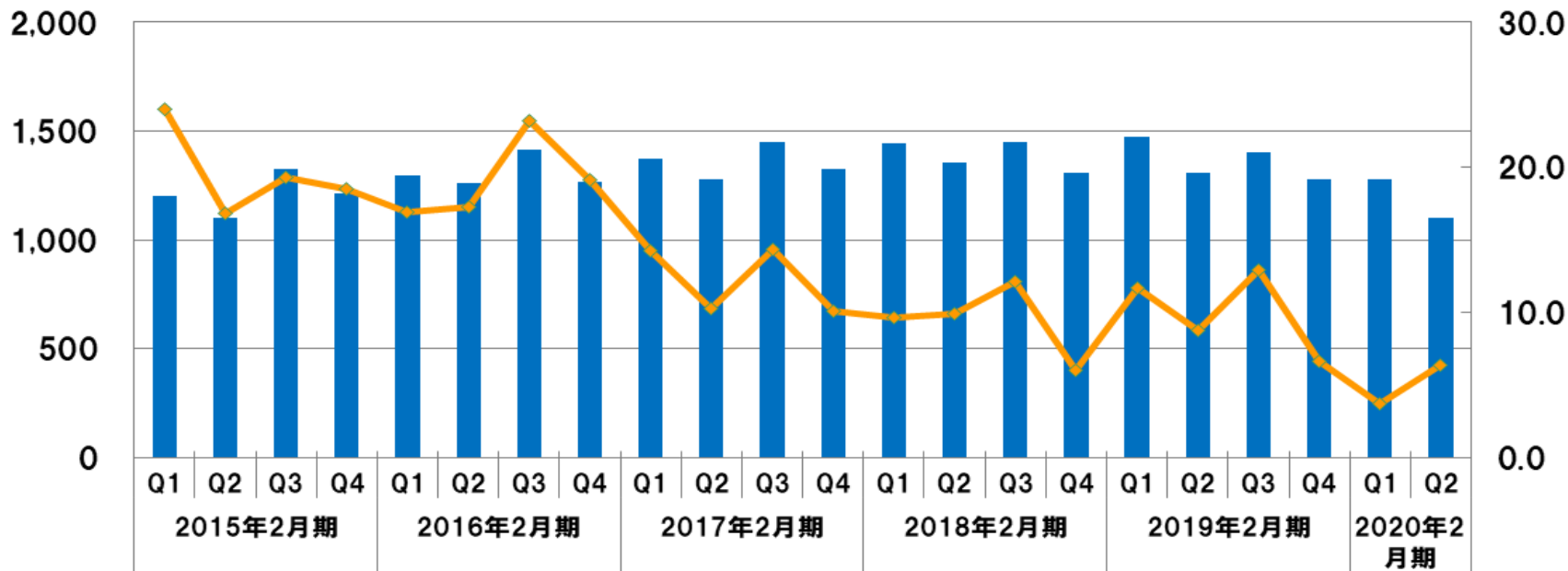


# 経営環境と業績推移

(単位:百万円)

■ 売上高    ● 営業利益率

(単位:%)



## ➤ 取り巻く環境と経営のあゆみ

- ◆ 2009年2月期中に発生したリーマン・ショックにより大幅に業績が悪化、2010年2月期に合理化策による収益構造の改善を実施し、2011年2月期に黒字転換、国内景気回復の中で基盤事業のサービス強化および収益の安定化を推進し、安定的な利益を計上。当期は不採算サービスの休止、コスト圧縮を図るも紙媒体の売上減により営業利益率低下。
- ◆ 構造的な少子高齢化や働き方改革において、企業の採用ニーズの高まりや就業形態やスタイルが多様化している中で、地域に根差した人材マッチングの強みと展開エリアの拡大、グループの新たな柱となる事業への投資を継続しつつコストの最適化を図る。





## 求人サービスの選択強化と収益構造の見直し

### ➤ 個別多様な入職ルートに向けたサービス提供

#### ＜リアルイベントの開催によるマッチングサービスの実施＞

- ・転職・就職イベント『シゴトフェア』、子育てママから転職・就職を希望する女性のための合同企業面談会『シゴトフェア Woman』を静岡県内、愛知県内で実施。
- ・日本国内のミャンマー人を対象にした人材マッチングイベント『ミャンマー Job Fair』を開催。

#### ＜属性・業種に特化した特別版DOMOを発行＞

- ・シニアや女性、医療介護、ドライバー等の属性や業績に特化した特別版『DOMO』を発行

### ➤ 人材紹介事業への投資による収入拡大及び成長サービスとしての育成

- ・営業力強化のため要員を投入。下期に専用サイトをオープン予定。



## 合併会社設立による愛知エリアの収益の最大化

### ➤ 販売エリアの拡大

名古屋市内、名古屋市内近郊及び西三河地域から愛知県内及び岐阜県主要地域へ販路拡大

### ➤ 競争環境の最適化及び原価の見直しによるコストコントロールによる収益の最大化

当社発行の新聞折込チラシ『DOMOリーフ』を休刊し、合併相手先の三光アド社が発行する市場シェア首位の『求人情報ビズ』を販売し、自社発行の求人誌『DOMO』、求人サイト『DOMO NET』を3点パックで販売

商号	株式会社BizMo(ビズモ)
所在地	愛知県名古屋市
設立先月	2019年5月7日
役員構成	代表取締役社長:代田 晴久
	取締役:石川 貴也
	取締役:平尾 丈
	監査役:尾上 正二
資本金	10百万円
出資比率	三光アド:80% アルバイトタイムス:20%
決算期	3月末
事業内容	主に愛知県、岐阜県における求人広告媒体を含む人材関連商品の販売及び提供
スケジュール	合併契約締結:2019年2月13日 営業開始:2019年6月



# 連結業績予想

2019年3月1日～2020年2月29日

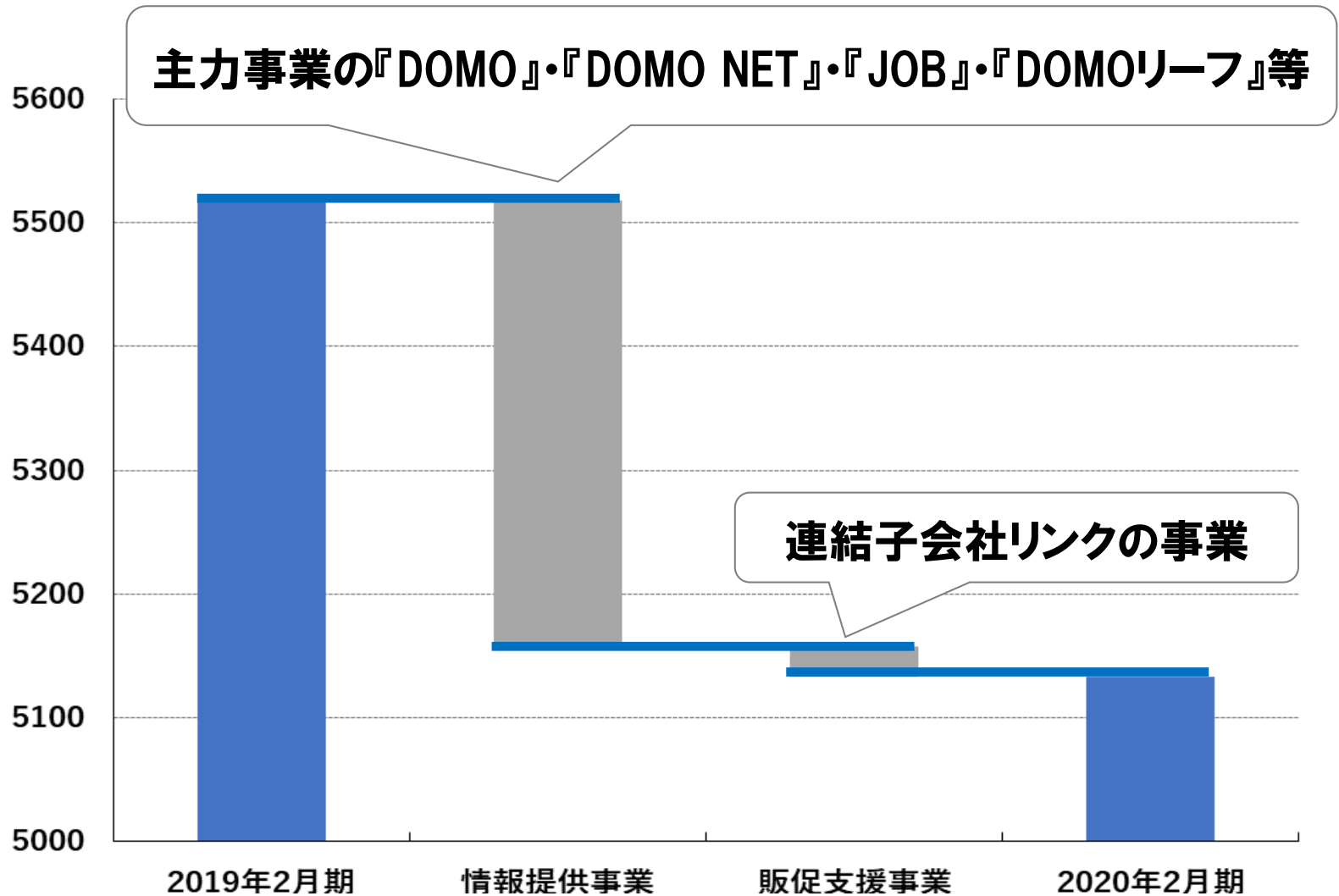


# 業績予想

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%	2020年2月期		2019年2月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	5,090	100.0	5,469	100.0	△379	△6.9
売上原価	1,568	30.8	1,678	30.7	△110	△6.6
印刷費	548	10.8	626	11.5	△78	△12.5
労務費	198	3.9	201	3.7	△2	△1.4
その他売上原価	821	16.1	849	15.5	△28	△3.4
売上総利益	3,522	69.2	3,791	69.3	△268	△7.1
販管費	3,037	59.7	3,236	59.2	△198	△6.1
人件費	1,594	31.3	1,636	29.9	△41	△2.5
広告・販促費	652	12.8	623	11.4	29	4.7
流通費	207	4.1	398	7.3	△191	△48.0
その他販管費	582	11.4	577	10.6	5	0.9
営業利益	484	9.5	554	10.1	△70	△12.6
経常利益	483	9.5	564	10.3	△81	△14.5
税金等調整前	483	9.5	532	9.7	△49	△9.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	340	6.7	366	6.7	△26	△7.2
EPS	¥12.89		¥13.88			



# セグメント別売上高(内部取引消去前)



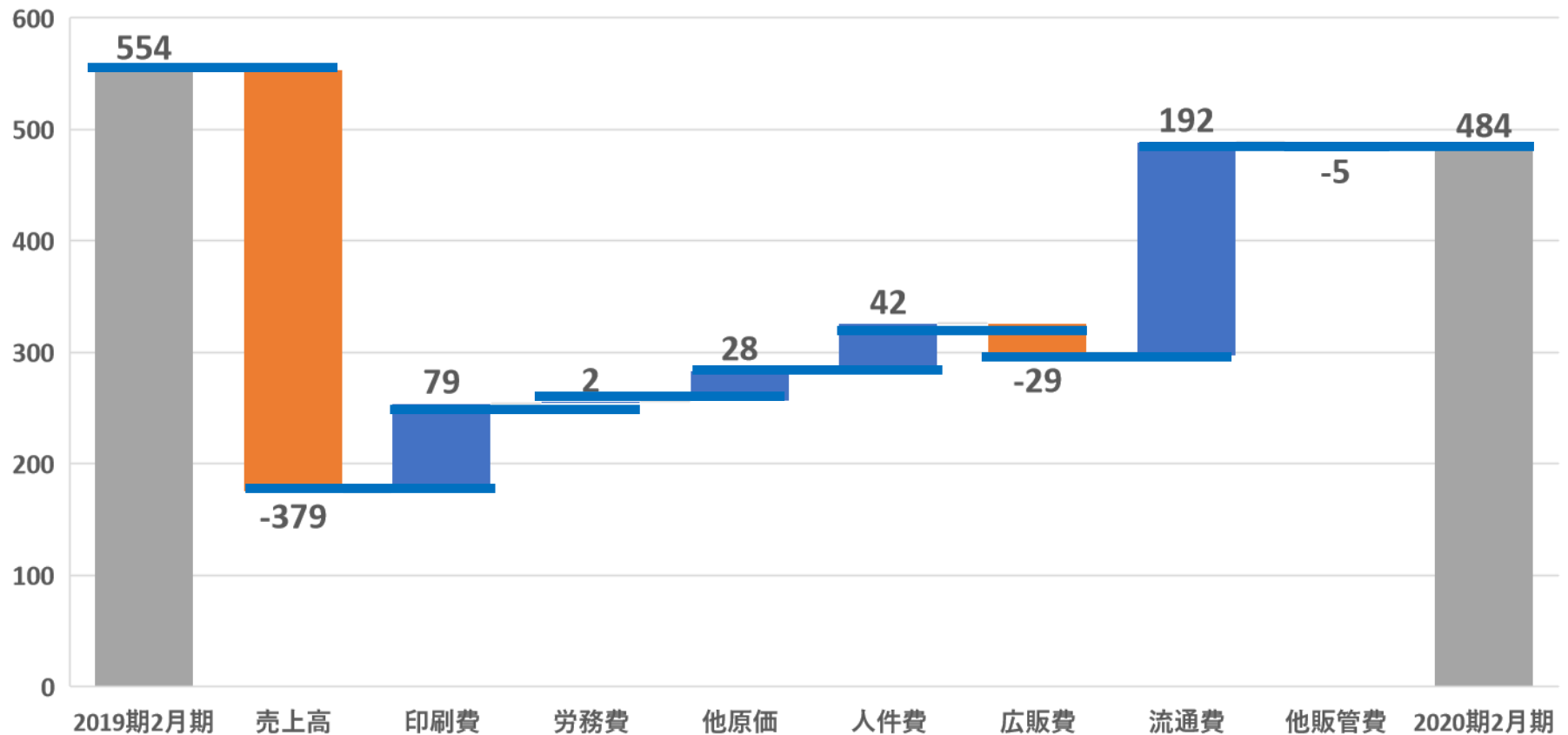
# 売上から営業利益までの内訳

## 紙媒体の減収に伴う費用圧縮及び経営資源の再配分

営業利益増減要因

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計

(単位:百万円)

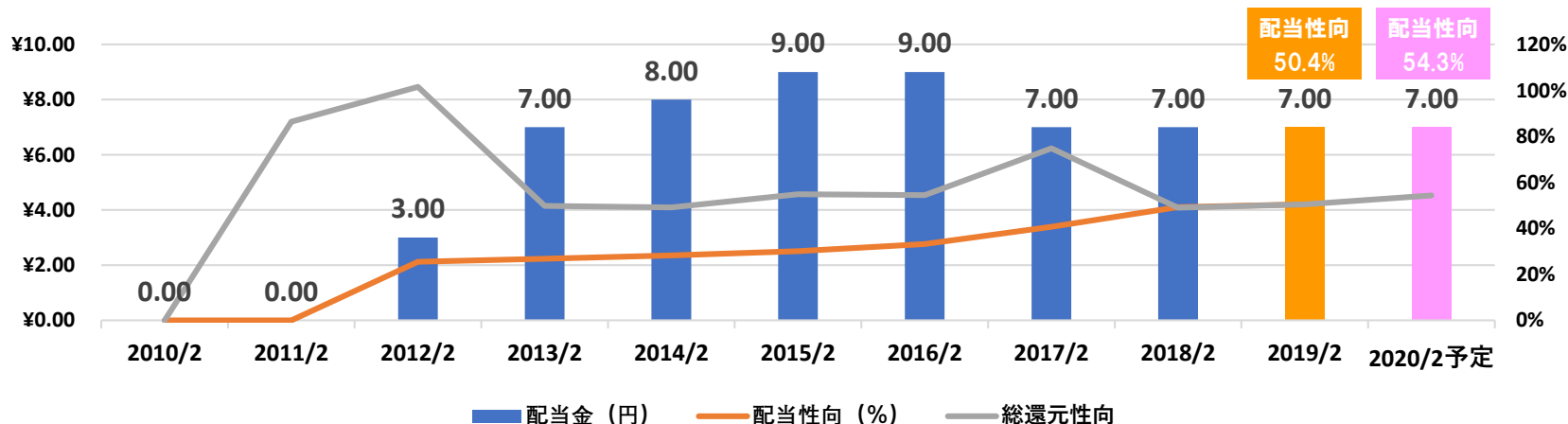




# 株主還元

## 連結当期純利益の50%を目処

配当金・配当性向・総還元性向の推移



当社グループは、中長期的な企業の競争力の強化と成長力の維持を可能とする投資を最優先事項と捉えています。そのため、内部留保金並びにフリー・キャッシュ・フローにつきましては、新規事業向けを中心とした投資に充当し、グループとしてのさらなる成長を図ります。

一方で、株主の皆様に対してはその投資によって得られた成果、つまり連結業績に連動した利益配分を行っていくこととし、具体的には**連結配当性向50%**を目処に配当を行う方針です。

当期の配当につきましては、1株当たり7円の期末配当を予定しております。次期の配当につきましては、1株当たり7円の期末配当を予定しております。

# 連絡先

**株式会社アルバイトタイムス 管理部広報IR課**

**TEL:03-3254-2501**

**FAX:03-3254-2444**

**E-MAIL:ir@atimes.co.jp**

**住所:101-0043**

**千代田区神田富山町5-1 神田ビジネスキューブ8F**

**HP:http://www.atimes.co.jp**

